

学科近況

師走に入り、本年も残りわずかとなりました。学生たちは後期に入ってから高専祭、中間試験と忙しい日々を送り、いま一段落付いたところです。3 年生は 11 月末から 12 月の始めに東京での研修旅行で視野を広げました。4 年生は夏季休暇中のインターンシップで「就職」を実感し、進路選択の何たるかを肌で実感して来ました。5 年生は卒業研究に悪戦苦闘しつつも進路選択実践の真っ最中です。専攻科生は、特別研究に取り組んでいます。そのような中で、5 年生、専攻科 2 年生の進路は 100% 決定したことをここに記します。

今年の夏休み、沖縄県主催で中学生にドローン制御を教える 4 日間の講習会を開催しました。ここでノート PC を使い、直接中学生を指導したのは、授業でドローン制御を学んだ 5 年生でした。最終日には中学生全員が自在にドローン制御を実現できていました。5 年生の実践力に感謝する次第です。先日、九州沖縄地区高専教員研究集会に参加し、全学生がノート PC を使っているのは、九州沖縄地区で沖縄高専のみであると知りました。上記の講習会の成功は全員がノート PC を使いこなす沖縄高専生の実践力に因ると痛感した次第です。

この優位性を認識し、更に活かし、進路選択や進路先においてメディア生が活躍してくれることを期待します。
(学科長: 姉崎 隆)

各学年の話題(1 年生)

月日が経つのは早いもので、特に青春真ただ中の学生たちにとっては日々成長の連続であつという間に過ぎていくのではないかと思います。ついこの前入学してきた 1 年生も、早いもので後学期も終盤に差し掛かり、学年の締めくくりの時期を迎えようとしています。

11 月には、学生たちが年間を通じて楽しみにしている行事の一つである高専祭が催されました。学生会を中心に学生たち自らが企画・運営をする高専祭は、毎年様々な企画・イベントが催されますが、今年は事前の準備の進行も例年以上にスムーズで、学生たちのがんばりと成長があつてのことではと感心しております。1 年生も、各クラス別に屋台の出し物などを皆で協力し合って取り組み、大盛況のうちに終了することができたのではないかと思います。初めての仲間とともに取り組んだ高専祭、大切な高専生活の思い出の一コマとなると共に、様々な面で成長できた良き機会となったのではないのでしょうか。

新年を迎え 2 月に入ると、学年の締めくくりとなる後学期期末試験の時期になります。これまで 1 年間取り組んできた学業の総括となると共に、来年度の進級に向けた大切な時期となりますので、事前にしっかりと対策をして取り組んでほしいと思います。また、来年度 2 年生以降になると、学年進行とともに徐々に専門科目の数や難易度も増してきます。授業中分からなかったことや疑問に思うことは放置せず早めに先生や仲間へ聞いたり自分で調べたりするなどの癖を付けましょう。また、学業以外にも部活動や学外の活動など課外活動にも目を向け、

広い視野を養ったり活動を通して幅広い人格を形成することも、今という時間のためだけでなく将来の人生をより良いものにするために大切な取り組みではないかと思えます。社会からは、卒業してからも継続して新しい知識や技術を自らの力で学び自分を成長させていき課題を解決していける力が求められています。是非、ご家庭におかれましても、学業のみならず様々な話題について人生の良き先輩として語り掛けて頂ければと思います。
(1 年学科担任: 鈴木 大作)

各学年の話題(2 年生)

後学期中間試験が終わり、あと 3 ヶ月足らずで 2 年生も終わりです。1, 2 年は混合学級でクラスの中に全学科の学生が所属していますが、3 年からは学科別のクラスに成り、そのまま卒業まで同じクラスになります。本校の良さのひとつは 1, 2 年の間混合学級であることにより、学科をまたいだ友人が出来ることです。この時期の友人が卒業後もつづくかけがえのない財産となります。残り少ない 2 年のうちに、他学科の学生と交友を深めて欲しいと思います。

また、3 年になると専門科目が急に増えます。授業の内容もこれまでの基礎的なものから、応用的なものに変わっていきます。そのための土台を 1, 2 年の専門科目で学びます。今の内にしっかりと勉強をして、分からないところは担当の先生に聞きに行くなど、3 年生になっても困らない基礎力を付けて欲しいです。

(2 年学科担任: 正木 忠勝)

各学年の話題(3年生)

平成 28 年度後学期の 3 年メディア組は、米国への 1 年間の留学を終えて帰国した 10 期生 1 名が復学し、前期から 1 名増の 40 名(女子 10 名、男子 30 名)となりました。11 月 5 日(土)と 6 日(日)の両日は、クラスの学生が書いた脚本をもとに、寸劇でヒントを与えて、参加者に犯人捜しをしてもらうアトラクションゲームをクラス企画として行いました。11 月 16 日(金)から 29 日(火)の長期間にわたる後学期中間試験を経て、11 月 30 日(水)から 12 月 3 日(土)にかけては、38 名の学生が東京への研修旅行に参加しました。研修先は、NHK スタジオパーク、ANA 羽田整備工場、フジテレビ、日本科学未来館、等でした。旅行の第 2 日目には、メディア情報工学科の卒業生 10 名(1 期生 2 名:安里 梓さん・棚原 唯さん、2 期生 5 名:遠藤 隆将さん・奥平 進太郎さん・賀数 恵太さん・砂川 正樹さん・八幡 美希さん、3 期生 2 名:兼城 駿一郎さん・津波古 渉太さん、6 期生 1 名:一ノ瀬 翔吾さん)を宿泊先のホテルに招いて、先輩との交流会を行いました。高専に進学したことや、卒業後の進路について迷いや不安を感じがちな 3 年生にとって、社会の中で頑張っている先輩の姿は、大いに励みになったことでしょう。2



第 3 日目の宿泊先ホテルからの眺め。3 日目は天候にも恵まれ、絶好の自主研修日和となりました。この写真は 20 階展望室から撮影したもの。学生の部屋は 8 階でした。

月には後学期期末試験があります。クラスの全員が 4 学年に進級できるよう、関係者全員で力を合わせて頑張ることができればと思います。

(3 年学科担任:西村 篤)

各学年の話題(4年生)

4 年生の 1 年間には様々なことがあります。5 年間の高専生活の中で最も多くの行事等がある年と云っても過言ではありません。それらの中から特に 4 つを取り上げたいと思います。

まずは、夏休み期間中に行われたインターンシップ研修です。これについては担当教員である 4 年副担任に詳しい説明を譲ることにいたしますが、無事に全員がインターンシップ先として県内外の企業、および大学の研究室に決まり、各自貴重な経験を積むことができました。

夏休み明けに直ぐやってくるのが高専祭と卒研配属です。今年度の 4 年生は屋台を出しました。飲み物の他に提供したポテトと唐揚げが大好評となり、一時的に販売をストップせざるを得ない事態にまでなりました。写真は暑いテント内で学生達が一生懸命準備している様子を写したものです。皆が協力して本当によく頑張りました。



ANA 羽田整備工場で整備中のボーイング 777 型機をバックに全員で記念撮影。



フジテレビ本社の見学ではクラスを 2 グループに分けて様々な番組の制作現場を間近に見せていただきました。上の写真は卒業生の安里梓さん(1 期生)と一緒に見学したグループ。スポーツ番組「スポーツ LIFE HERO'S」で実際に使用されているセットを背景に記念撮影。



写真:テント内で一生懸命準備している様子。

高専祭終了後から本格的にスタートしたのが卒研配属＝卒業研究室配属です。これは、学生自らが志望研究室を選んで研究室訪問を行い、学生間での、そして教員による調整を経て、最終的には学科会議で承認され、各学生の配属先が決定するというものです。今年度は比較的早く、11月末にはすべての学生の配属先が確定いたしました。表に各学生の配属先を示します。

表: H29 年度卒業研究室配属先一覧

研究室名	配属学生氏名	
姉崎研究室	島袋 駿	高橋 優也
	仲里 こなつ	濱元 幸
伊波研究室	伊藤 匠	崎山 媛可
	仲間 陽香	半田 彩花
正木研究室	安慶名 雄大	我如古 拓史
	島袋 瑞樹	當間 環
タンスリヤボン研究室	亀田 都和	平良 秀也
	當眞 重天	沼田 海斗
太田研究室	新垣 慶太	多和田 留伊
	知念 響紀	仲宗根 健人
	中野 貴稀	
玉城研究室	新川 怜奈	金城 海姫
	仲程 優貴	比嘉 真生乃
バイティガ研究室	與那覇 寿美	島袋 拓満
	橋口 真和	宮城 靖一郎
佐藤研究室	植竹 蓮	覺正 義樹
	平良 雅人	平敷 美空
鈴木研究室	大賀 悠平	下地 達也
	田澤 麻久	野崎 清太郎
金城研究室	坂口 大河	清水 梨玖
	高里 盛晴	仲本 和至

※ 西村研究室は教員が長期出張(2017年4月～2018年3月)で不在となるため卒研生の配属はありません。

最後は進路についてです。就職活動スケジュールは大きく変わり、企業説明会は「3月」から解禁されます。しかし、それまで何もしないというわけにはいきません。就職希望者は、インターネット等を活用して情報を集め、自分が将来行いたい仕事の内容と就職先の絞り込みを行わねばなりません。また、進学希望者は、来年度の4～7月がピークとなる大学への編入学試験に向けて準備する必要があります。本校の専攻科を志望する学生の場合、5月に推薦試験、そして6月に学力試験がありますので、今年中には意思を固め、なるべく早めに準備を進めなければなりません。

就職か、進学か、学生は大いに悩むことになると思いますが、保護者の皆様におかれましては、できるだけ学生にお話をして頂けますよう、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(4年学科担任:佐藤 尚)

インターンシップの話題(4年生)

沖縄高専では、4年生を対象とする必修科目「インターンシップ」を行いました。今年度のインターンシップ期間は、8月18日(木)～9月23日(金)の夏期休業中に2週間程度の就業体験を行いました。インターンシップ実施に当たり、5月から各学生の企業希望する企業に関して調査を行い、6月15日には外部講師を招き、ビジネスマナー講習会を行いました。講習会では、企業で仕事をする上で必要とされる基本的なマナーである敬語の使い方・挨拶・電話の仕方等を学習しました。6月21日は女子学生を対象にメイクアップセミナーを行いました。7月以降は、履歴書等、申込必要書類の作成、受入れ企業への日程調整、服装、注意点の事前確認を行いました。インターンシップを通じて学生が得られたことは、次の通りです。

- 学習目的の明確化
- 就業意識の向上
- 就職のための情報源
- 責任感、自立心、協調性の育成

インターンシップを終え、学生が無事に沖縄に戻り、10月19日にインターンシップの報告会を行いました。それぞれの学生がインターンシップ先で体験したことを発表し、全員で共有することができました。全員が大変お世話になった受入企業・研究教育機関への感謝の気持ちを持って笑顔で発表しました。これから、来年の就職活動に向けて企業への説明会・講演会を調整しているところです。

(4年副担任 インターンシップ担当:バイティガ ザカリ)

各学年の話題(5年生)

早いもので、5年生は卒業まで残り3ヶ月あまりとなり、残り少ない高専生活を送っています。11月の高専祭では5年メディア恒例の完成度の高い映像作品で多くの観客を集めました。高専5年間で勉強してきた技術と、共に過ごした学生達のチームワークを活かし、いい思い出の1ページができたと思います。

進路(就職・進学)希望は卒業予定者39名に対し、就職希望26名(67%)、進学希望13名(33%)です。12月1日現在の決定状況は就職・進学希望者は全員(100%)進路が決まっております。

5年生は現在、卒業研究の総仕上げで忙しい毎日を送っています。卒業研究の最終発表は1月末に予定しています。4月からは進学先、就職先で新たな生活が待っています。これからは卒業研究に打ち込み、悔いの無い高専生活を送って欲しいと思います。

(5年学科担任:タンスリヤボン スリヨン)

その他学科内の話題

■受賞

沖縄デジタル映像祭 2016

(総務省沖縄総合通信事務所主催)

呉屋愛恵(2年メディア)

「メディア情報工学実験 I」(指導教員:西村篤、担当技術職員:新田保敏)の授業で制作した短編映像作品で「ティーン賞」を受賞すると同時に、沖縄コンベンションビューローより特別に奨励を受けました。

喜納綾夏(2年メディア)

「創造研究」(指導教員:西村篤)の授業で制作したCM作品で「フォーモストブルーシール株式会社」より「特別賞(社長賞)」を受賞。

高専プログラミングコンテスト

2016年10月に三重県伊勢市で開催された高専プロコンにおいて下記の受賞をしました。

自由部門『いちにのさんしん♪』敢闘賞、TeamLab 賞

當山 大騎(5年情報)

當間 環(4年メディア)

森永 駿介(3年メディア)

外間 ルイ(2年情報)

嶺井 政龍(1年情報)

自由部門『DiscussionNavi』特別賞

島袋 瑞樹(4年メディア)

清水 梨玖(4年メディア)

金城 樹里(2年メディア)

山城 凜(2年メディア)

古堅 武琉(1年情報)

課題部門『MultiView360』敢闘賞

我如古 拓史(4年メディア)

安慶名 雄大(4年メディア)

仲程 優貴(4年メディア)

知念 響紀(4年メディア)

宮城 翔(1年メディア)

競技部門『罪深さ優先探索』1回戦通過、準決勝敗退

與那城 有(2年専攻科情報工学コース)

山城 響(4年情報)

又吉 純次(3年メディア)

垣花 周(2年メディア)

高良 昇吾(1年メディア)

ACM-ICPC 国際大学対抗プログラミングコンテスト

アジア地区つくば大会

2016年10月に茨城県つくば市で開催された国際大学対抗プログラミングコンテスト アジア地区つくば大会において、25位の成績を残しました。アジア地区の大学、国内の有名大学の中での25位は大健闘でした。

與那城 有(2年専攻科情報工学コース)

山城 響(4年情報)

清水 梨玖(4年メディア)

パソコン甲子園

2016年11月に福島県会津若松市で開催されたパソコン甲子園において下記の受賞をしました。

モバイル部門『ふぁみここ』ベストデザイン賞

伊波 智博(2年メディア)

知花 朱里(2年メディア)

宮里 颯斗(2年メディア)

プログラミング部門『アルバコア』第6位(入賞)

貝盛 陽平(3年メディア)

又吉 純次(3年メディア)

e-ZUKA スマートフォンアプリコンテスト

2016年11月に福岡県飯塚市開催されたe-ZUKA スマートフォンアプリコンテストにおいて下記の受賞をしました。

『レンタッチ』TRIART 賞、パソナテック賞

生田 輪太郎(5年メディア)

潮平 諒也(3年メディア)

岸本 善生(2年メディア)

編集後記

学科だよりも平成28年度で11年目となります。15歳から20歳まで(専攻科だと22歳まで)という、不安定で変化の大きい時期に学ぶ高専の教育課程には勉強以外にも実に様々な教育的課題があるものだと認識しています。学科教員一丸となって、多様な教育的課題に向き合っていきたいと思います。学科だよりに関するご意見ご要望がございましたら、是非下記連絡先までお知らせください。また、学校に対してお持ちの疑問・要望、また他の保護者の方々にも知って欲しいことなどを投書して下さることも大歓迎ですので、是非お気軽にお便りをお寄せ下さい。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 金城 篤史

TEL 0980-55-4003(代) FAX 0980-55-4012(代)